

尾張旭市人口問題対策に係る課題の整理及び令和8年度実施取組一覧

分野		課題と要因		令和8年度に実施する取組		令和8年度 当初予算額 (千円)	
分野(大)	分野(小)	課題	要因	取組カテゴリー	取組(◎は令和8年度から新規で実施する取組)		
1 高齢者	(1)介護サービス	要介護認定者の増加	要介護認定率が上昇する 85歳以上人口の増加	元気な高齢者を増やす支援	今後の介護需要を踏まえた 介護サービス基盤の整備	介護サービス(地域密着型サービス)の今後の必要量の推計	3,103
						介護サービス(地域密着型サービス)の整備検討	—
						◎高齢者外出支援事業の拡充	16,314
						◎地域包括支援センターの新設	25,810
						シニアクラブ、趣味の作業所の活動支援	1,032
						包括と協働で介護予防事業(講座・教室)を開催	385
						元気まる測定(生活習慣病予防)推進	5,355
						筋力トレーニング事業(フレイル予防)	46
						あたまの元気まる(認知症予防)	679
						各種がん検診(疾病の早期発見早期治療)の支援	187,126
	健康づくり教室等の実施	734					
	健康づくりボランティアの養成	575					
	(2)医療と介護	医療介護連携の必要性の増加	医療・介護の双方を必要とする 高齢者の増加	医療と介護の連携サービスを 提供できる環境の強化	電子連絡帳(もーやっこネットワーク)の運用により、 地域の医療・介護関係者の情報共有の支援実施	7,730	
	(3)介護人材	介護人材の不足	生産年齢人口の減少	限られた介護に従事する人的資源を 有効に活用するための支援	メールでの届出(介護保険事業所の各種届出)	—	
					◎国の勤める電子申請・届出システムの開始	—	
予算額計						248,889	
2 福祉	(1)地域福祉	重層的な支援及び総合的な相談の 必要性増加	複合的課題の増加 (8050問題、ダブルケア、認知症、 生活困窮等)	分野を横断した包括的・一体的な 支援	◎障がい福祉及び介護事業所従事者の 研修費用を助成	500	
					「福祉相談窓口(「高齢者」「生活困窮」 「障がい者」の相談窓口を総称)」の 連携強化に向けた取組実施	—	
	(2)孤独・孤立	孤独・孤立の増加(特に高齢者)	独居高齢者の増加	高齢者のみの世帯(単独世帯含む) の増加を想定した対策推進	◎専門機関との連携強化の準備	—	
					緊急通報装置運用事業の実施	16,008	
				高齢者給食サービス事業の実施	3,364		
				ごみ出し支援の実施	10,559		
予算額計						30,431	
3 子育て	(1)保育サービス (2)放課後児童クラブ	子育て支援に関する需要の変化	出生数の減少 女性・高齢者の就業率の上昇	需要の変化を的確に見据えた サービスの見直し	◎未満児保育の拡充(小規模保育事業所・ 認可保育所の開設)	200,000	
					リフレッシュ一時保育の実施	—	
					延長保育、休日保育、一時保育、 病児・病後児保育の実施	46,992	
					既存民間学童クラブの移転による定員 拡充を補助金等により支援(R7年度)	—	
					預かりニーズに対応した定員数の確保 や預かり時間の検討(公立・民間)	2,324	
					保育定員の弾力運用(待機児童対策)	—	
					◎こども誰でも通園制度の実施	19,400	
					風しんワクチン接種対象者の拡充	250	
					◎妊婦へのRSウイルスワクチン接種を 実施	17,077	
					◎5歳児健康診査を実施	1,932	
					◎ひとり親の養育費確保を支援	200	
					◎こども・若者相談窓口を開設	—	
					企業への働きかけ	市内企業へ県や国の各種認定制度等 の周知	—
					祖父母を対象とした子育て支援	祖父母教室の開催	25
予算額計						288,200	

※ 令和8年度当初予算額には、令和7年度からの繰越明許費予算を含む場合があります。

尾張旭市人口問題対策に係る課題の整理及び令和8年度実施取組一覧

分野		課題と要因		令和8年度に実施する取組		令和8年度 当初予算額 (千円)
分野(大)	分野(小)	課題	要因	取組カテゴリー	取組(◎は令和8年度から新規で実施する取組)	
4 教育	(1)学校の在り方	小規模校の出現の可能性	児童生徒数の減少	教育の魅力向上	特色ある学校づくり	988
					学習支援事業(地域未来塾)の実施	7,200
					校内教育支援センターの開設	30
					教育DXの推進	202,652
					◎学校施設整備による魅力向上(エレベーター改修、小学校体育館等空調整備(設計)、小学校ロッカー改修)	141,000
	(2)部活動	団体競技の部活の継続が困難 部活の選択肢の減少 児童生徒の運動機会の損失 児童生徒の成長可能性の損失 中学校部活動の運営体制の確保	児童生徒数の減少 部活動の減少 部活動の地域移行 指導者の人材不足	児童生徒数減少を見据えた 部活動の在り方の検討	庁内関係部署による検討委員会の実施	—
					学校をまたいだ部活動の実施検討	—
					部活動の地域展開に関する議論	—
	(3)外国人児童生徒	外国人児童生徒に対応した教育 支援の必要性の増加	外国人人口の増加	対応策の必要性を検討	日本語支援員やボランティアによる学校の入り込みや取り出し 授業の補助	—
初期日本語教室での生活や教育の相談					538	
予算額計						352,408
5 都市基盤	(1)住宅	名鉄瀬戸線沿線の住宅需要拡大 への対応	生産年齢人口の減少 テレワークの普及 栄地区のオフィス需要増加	栄地区に通勤する人をターゲット とした居住地としてのブランド 形成	三郷駅周辺まちづくり事業の推進	1,280,196
					印場駅北側バリアフリー化の推進	242,810
		機を逸さない宅地供給	住宅需要の減少 名古屋市への移動利便性の高 さによる良好な住環境による 転入需要への期待	世帯分離期(若い世代)の転出 抑制	空き家バンク	—
					空き家総合相談窓口	—
	(2)空き家	空き家の増加 店舗・工場等の閉鎖	高齢者のみの世帯の増加 若者や子育て世代の都市部へ の移住	若い世代(世帯分離期)のニー ズに合わせた空き家物件の供給	空き家セミナー・個別相談会の実施	250
					土地区画整理事業の推進	742,150
					空き家総合相談窓口	—
予算額計						2,265,406
6 公共交通	(1)移動手段	社会変化を見据えた対応	高齢者の増加 デジタル化による各所訪問機 会の減少 自動車の技術革新	対応策の必要性を検討	バスロケーションシステムの実施	1,149
					人材の不足 (10代後半の市内就業率を50代後 半と同率(約80%)と仮定した場 合)	50代後半人口(約5000人)と 比較し、10代後半人口(約 4000人)が少ない
	予算額計					

※ 令和8年度当初予算額には、令和7年度からの繰越明許費予算を含む場合があります。

尾張旭市人口問題対策に係る課題の整理及び令和8年度実施取組一覧

分野		課題と要因		令和8年度に実施する取組		令和8年度 当初予算額 (千円)
分野(大)	分野(小)	課題	要因	取組カテゴリー	取組(◎は令和8年度から新規で実施する取組)	
7地域コミュニティ	(1)担い手	地域における活躍の場や機会の創出 閉鎖的体質の改善	前期高齢者人口の増加 加齢による地域への愛着、社会奉仕意識の向上	対応策の必要性を検討	市を仲介した新規加入希望者の町内会への取次ぎ	—
					自治会に対する行政からの依頼事項の削減	—
					連合自治会、自治会等への活動補助金の交付 補助金等の申請の簡素化	23,930
	(2)活動	地域行事の継続危機 シニアクラブ対象者の増加による運営負担の増加	少子化 高齢化	対応策の必要性を検討	自治会等への助成金及び補助金の見直し	—
					地域活動のデジタル化支援	—
					自治会等への加入促進支援	—
					加入促進活動の支援	100
					自治会等活動の周知・啓発	—
					市を仲介した新規加入希望者の町内会への取次ぎ	—
(3)自助共助	地域共生社会の必要性の増加	介護人材の減少 地域内の関係性の希薄化 外国人人口の増加	高齢者のみの世帯(単独世帯含む)の増加を想定した対策推進 対応策の必要性を検討	自治会等への助成金及び補助金の見直し	—	
				地域活動のデジタル化支援	—	
				自治会等への加入促進支援	—	
					加入促進活動の支援	—
					自治会等活動の周知・啓発	—
					健康麻雀等の講座開催とシニアクラブへの勧誘	200
					民生委員による高齢者世帯の実態調査	2,350
					◎災害時外国人支援ワークショップの実施	68
					予算額計	26,648
8消防	(1)救急	救急車の要請需要の増大	85歳以上人口の増加	救急体制の強化	名古屋市と通信指令センターの共同運用	27,600
					周辺自治体との応援強化	—
				高齢者のみの世帯(単独世帯含む)の増加を想定した対策推進	緊急通報装置運用事業の実施	16,008
					高齢者給食サービス事業の実施	3,364
				救急体制の強化	◎救急に従事する職員の増員	—
					救急需要の高い時間帯へ対応するため、日勤救急隊を組織し救急車4台運用体制を開始	2,045
					予防救急業務の実施	—
					滞在時間を短縮するための検証を進め対策を実践	—
					全国版救急受信アプリの推進	—
					予算額計	49,017

※ 令和8年度当初予算額には、令和7年度からの繰越明許費予算を含む場合があります。

尾張旭市人口問題対策に係る課題の整理及び令和8年度実施取組一覧

分野		課題と要因		令和8年度に実施する取組		令和8年度 当初予算額 (千円)
分野(大)	分野(小)	課題	要因	取組カテゴリー	取組(◎は令和8年度から新規で実施する取組)	
9 産業	(1)地域産業 (持続性、担い手 事業継承)	人材の不足 (10代後半の市内就業率を50代後 半と同率(約80%)と仮定した場 合)	50代後半人口(約5000人)と 比較し、10代後半人口(約 4000人)が少ない	就労の希望者、キャリアアップ 希望者への支援(高齢者・女 性)	ふるさとハローワークの支援	180
					瀬戸・尾張旭雇用対策協議会による事業(就職フェア等)の実施	540
					ママ・ジョブ・あいち出張相談	—
					生涯現役支援事業、就職支援の出張相談会	—
					ミニ就職面談会	—
					創業セミナー、創業フォローセミナーの実施	440
					市内企業へ県や国の各種認定制度等の周知	—
					市内企業への関心を高める	—
					市職員向けの工場(企業)見学	—
					市ホームページでの企業紹介	—
企業の省人化の推進	◎小規模企業等補助金の充実(デジタル化区分の設置)	15,000				
	◎事業承継個別相談会の実施	—				
(2)マーケット	マーケットの縮小 新しいビジネスチャンスへの対応 マーケティング力ある企業の育成	人口減少 人口構成の変化	市場変化に対応できる強い 事業者の育成	小規模企業等補助金の充実(販路拡大区分の設置)	—	
				旭色プロジェクトの推進	—	
				◎市内企業の再投資支援	168,247	
				ふるさと納税返礼品提供事業者の拡充	—	
予算額計						184,407
10 公共施設	(1)公共施設	需要の変化を見据えた施設・ サービス内容の検討	人口減少 ライフスタイルの変更 親の働き方の変更 サードプレイスの需要拡大 ウェルビーイング志向の高まり 高齢者人口の増加 墓地に関する考え方の変化	利用需要の変化に対応した供給 の見直し	尾張旭市公共施設等総合管理計画の取組方針、個別施設計画に 基づく計画的整備	—
					利用者の需要の変化に対応したサービスを指定管理者と検討	—
					図書館のサードプレイス化(個別ブース導入)	—
					電子書籍貸出サービス導入を検討	—
					図書館のバリアフリー化の検討(エレベーター設置等)	—
					整備に向けた公共施設の検討	165,230
					◎中央防災倉庫の新設及び備蓄品集約の運用開始	2,760
					◎尾張旭市民プール(スイットあさぴー)のオープン	1,000
予算額計						168,990
11 税収	(1)個人市民税	個人市民税の減少	生産年齢人口の減少	就労の希望者、キャリアアップ 希望者への支援(高齢者・女 性)	ふるさとハローワークの支援	180
					瀬戸・尾張旭雇用対策協議会による事業(就職フェア等)の実施	540
					ママ・ジョブ・あいち無料相談	—
					生涯現役支援事業、就職支援の出張相談会	—
					ミニ就職面談会	—
					創業セミナー、創業フォローセミナーの実施	440
予算額計						1,160
12 全体・その他		まちの魅力向上		市政情報と魅力の発信	◎シティプロモーション戦略に基づく市の魅力や情報の発信 (広報誌、SNS及び行政情報番組「あさちゃん」等)	52,123
				移住支援	移住支援金の交付	1,000
		人材の不足 重要の変化を見据えた施設・ サービス内容の検討	人口減少 職員の働き方の変更	開庁時間の変更	◎開庁時間短縮による業務改善及び働き方改革	—
予算額計						53,123
各分野の合計						3,741,228

※ 令和8年度当初予算額には、令和7年度からの繰越明許費予算を含む場合があります。